

わたしにちからがないことを
わたくしが一番よく知っているんです
だからわたしは
何か仕事をする時には
意気地がないようですが
いつも仏さまに頼むんです

かくのよが
みてくる
みゆなみてくる
ちやんと
みてくる
みつと

とうさんは
言うまでもなく
死んだわたしのおやじ
あんちゃん、ユキちゃんは
若くして戦争で死んだ二人の兄貴



それでもダメで
追いつめられると、わたしは
「どうさん」
あんちゃん
ユキちゃん
ちからを貸して下さい
どうか助けてください
と、心の中で悲鳴をあげるよう
に念ずるのです

うれしいときも
かなしいときも
わたしといつしょなんです
いつでもどこでも
いつでもどこでも

あんちゃん、ユキちゃんは
頭もよく馬力があつたから
ちからがないわたしを
いつも助けてくれるんです
仏さまになつたいまでも
わたしといつしょに
仕事をしてくれるんです

「仏さま、どうか手伝ってください
どうか、わたしといつしょに
仕事をやって下さい
わたし一人のちからでは
どうにもなりませんから…」

よびごえ

浄土真宗
仏光寺派
光明山
光善寺

〒915-0802
越前市北府2丁目2-18
Tel 0778-22-1222

あんちゃんが二人ではまちがうんで
上をあんちゃん、下をユキちゃん
と、子供の頃呼んだんです

だから仏さまになつて

三十年以上もたつたまでも
手を合わせるときには
あんちゃん、ユキちゃん、と
幼い時の呼び名で呼ぶんです

相田みつを
『にんげんだもの』文化出版局